

NFAアクションプラン2022→2026	全体 頁中の 頁
1. 現状の概要と今後の方向性	地区協会 第2種委員会 連盟
<p>・第2種登録チーム数は少しずつ減少し、登録選手数も数年間2,900人台を維持していたが、2022年度は2,700人台という状況である。今後高校の登録チーム数が更に減少することが予想され、今後の部活動の地域移行の状況を踏まえ、高校の合同チームの活動確保によるチーム数・登録選手数の維持を目指していくことが重要となる。</p> <p>・現在のところ第2種年代の日本代表に選出される選手は多くはないが、拮抗したリーグ戦の質を上げていくことが今後必要である。</p> <p>・プリンスリーグ北信越には2022年度は新潟県から4チームが参加し、上位2チームが新潟県であった。例年プリンスリーグ北信越では新潟県のチームが上位に入り、プレミアリーグへの昇格を果たせる状況に近づいてきている。</p> <p>・全国高校サッカー選手権大会では、帝京長岡高校が2019・2020年度に2年連続ベスト4に進出した。</p> <p>・高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ新潟県では、2022年度現在4部制で延べ85チームが参加し、拮抗したゲーム環境を目指し、チーム強化・選手育成、ユース審判員の育成という点で成果を上げているが、参加チーム数は減少傾向になっている。</p> <p>これまでの中期目標であった2022年目標の対しての達成度や現状、今後の長中期目標に対しての現状の概要、今後の大まかな方向性などについて書いて下さい</p>	

NFAアクションプラン2022→2026	全体 頁中の 頁
2. 中期目標(2030年)	地区協会 第2種委員会 連盟
<p>・公立高校の部員数減少に伴う登録チームの減少はやむを得ないが、合同チームでの活動を全体として支援し、登録選手数の減少を食い止め、2,700人以上の登録数を維持することを目標とする。</p> <p>・年代別代表に常に3人以上選出される。</p> <p>・第2種年代の全国大会において、優勝するチームが出る。</p> <p>・プレミアリーグに新潟県から3チームが常に参加している。</p> <p>・プリンスリーグ北信越に新潟県から常に6チーム以上参加している。</p> <p>・高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ新潟県(Nリーグ)が、現在の4部制を維持し、レベルの拮抗した試合を維持する。</p>	

NFAアクションプラン2022→2026	全体 頁中の 頁
3. 長期目標(2050年)	地区協会 第2種委員会 連盟
<p>・登録選手数2,700人を維持する。</p> <p>・年代別代表に常に5人以上選出される。</p> <p>・第2種年代の全国大会において、数年に1回、新潟県のチームが優勝する。</p> <p>・プレミアリーグに新潟県から4チームが常に参加している。</p> <p>・プリンスリーグ北信越に新潟県から常に6チーム以上参加している。</p> <p>・高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ新潟県(Nリーグ)が、現在の4部制を維持し、レベルの拮抗した試合を維持する。</p>	

NFAアクションプラン2022→2026				全体 頁中の 頁	
4. 現状分析				地区協会 第2種委員会 連盟	
No. と 事項	2026年具体的目標	2022年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1 普及	登録チーム数 75チーム(維持)	登録チーム数 75チーム (2022年度)	100%	高校の統廃合に伴う高校数減	・合同チームの活動支援
2 普及	登録選手数 2,700人(維持)	登録選手数 2,757人 (2022年度)	100%	<Nリーグの充実> ・部員が減少する地域における 選手確保	・減少する地域における第3種 年代との連携
3 育成	年代別代表に3名以上	年代別代表に1名選出	20%	<プレミア、プリンスリーグ 参加チームの強化>	
4 強化	全国優勝のチームが出る	第2種年代チームの全国 ベスト4以上(2019年・2020年)	50%	<プリンスリーグやNリーグ における拮抗したゲームの増加>	
5 強化	プリンスリーグ北信越に 6チーム参加する プレミアリーグに3チーム 参加する	2022年度はプリンスリーグ 北信越に4チーム参加 2022年度はプレミアリーグ に参加するチーム無し	65%	<プリンスリーグやNリーグ における拮抗したゲームの増加>	
6 普及 及び強化	Nリーグ4部制を維持する。 Nリーグ参加が85チームを維持 する。	高田宮杯 JFA U-18サッカー リーグ新潟県(Nリーグ) 参加延べ85チーム	100%	<リーグの充実と昇降格の 活性化>	
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2026年目標に向けての2022年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

## 5. 具体的アクション

第2種委員会  
連盟  
地区協会

No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1 普及	第2種委員会が	機会を見て	各地区で	存続について	サポートする。
2 普及	第2種委員会が	機会を見て	各チームに対して	部員数を増やす	働きかけをする。
3 育成	各チームが	日頃から	各チームで	選手の将来性を見て	トレーニング環境を整える。
4 強化	各チームが	年間を通して	各チームで	チーム強化の方策を	検討する。
5 強化	各チームが	年間を通して	各チームで	チーム強化の方策を	検討する。
6 普及 及び強化	第2種委員会が	Nリーグ実施計画時に		リーグレベルの向上 の方策を	検討する。

↑現状分析での事項No. に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です